

南浦和中だより

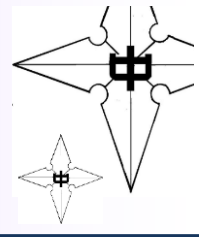
〒336-0026 さいたま市南区辻 6-1-33

TEL 048(863)0753

FAX 048(836)1589

さわやか相談室直通

TEL 048(837)5909



『時間よ止まれ』

校長 おお うち のり かず 大河内 範一

高齢の両親と会話をすると、私が小学2年生の時に交通事故に遭った話が時折出てくる。それは親戚たちと一緒に、夏の軽井沢旅行に出掛けた時の出来事だった。

宿泊した翌朝、軽井沢の街中を、前方に父親たちの集団、後方に私と母親たちでのんびりと移動していた。何の用事かは忘れてしまったが、私は父親に追い付こうと駆け足で追い掛けた。すぐ先に十字路があったのだが、何も確認せずに真っ直ぐ突っ切ってしまったのだ。そして、ふと右を向いたら、「キキーッ！」というけたたましい音と共に、車が自分の方に向かってるのが見えた。次の瞬間、目の前が「グルグルッ！」と回転したかと思ったら「どさっ」と地面に落下していた、というのが私の記憶に残っているシーンである。改めて思い出すと、「時間よ止まってくれ!」「時を撒き戻してくれ!」と思う出来事である。

母親からさらに詳しく状況を聞いてみると、突然走り出した私に気が付き、注意しようと追いかけたところ、私が車に跳ねられて、いきなり目の前から姿が消えてしまいショックを受けたとのこと。また、跳ねられた衝撃で私の靴が脱げ、近隣の民家の植木に引っ掛かっていたという事実もあった。いったいどんな跳ねられ方をしたのか気になるころではあるが、今でも残る右太ももと左肘の傷を見ると、あと少し打ち所が悪かったら、あるいは地面への落ち方が悪かったら、最悪の事態になっていたことは充分考えられる。今、こうして楽しく切り絵をつくったり、気楽に蝶々やいろみずを飾ったりすることができているのも、命あってのことである。本当に運が良かったことに感謝するしかない。

さて、今年度も「秋の全国交通安全運動」が終わったばかりだが、令和6年6月に警視庁交通局より公表された交通事故の発生状況報告によると、全体的な交通事故件数や負傷者数は減少傾向にあるものの、死亡事故件数は一定の増加が見られるとのこと。また、昼間と夜間のいずれの時間帯でも、交通事故による死亡リスクが存在するため、24時間体制での交通安全対策が求められるとまとめてあった。

私も車を運転しながら道行く児童生徒の様子を見ている、ヒヤッとする場面に出会うことがたくさんあり、実に恐ろしい。埼玉県交通安全課からは「交通事故防止のための5つの行動」というものが出ているのだが、御存知だろうか。『もしかして(危険予測)』『とまる(一時停止)』『みる(安全確認)』『まつ(安全確保)』『たしかめる(再確認)』である。自転車に乗る際や歩行する際には、これらの行動を常に心に留め、交通ルールを遵守して適切な行動を取ってほしい。そして、不注意による事故等で、大切な人生を棒に振ることのないように、くれぐれも気を付けてもらいたい。